

2020年5月27日

**2020年5月24日にシрил・ラマポーザ大統領が発表した
新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたリスク調整戦略の進捗状況（要旨）**

- 南アフリカのシрил・ラマポーザ大統領は、新型コロナウイルス対策として3月27日より続けている外出制限などの措置を6月1日から大幅に緩和し、経済活動の再開をさらに進めると発表した。
- 南アフリカ全土における警戒レベルが6月1日、これまでの4から3へと引き下げられるのに伴い、製造業全般をはじめ鉱業、建設業、金融業やビジネスおよび専門サービス、情報技術、通信、メディア、官公庁によるサービスなどを再開。学校も段階的に再開される。
- これまで禁止されていた酒類の販売も条件つきで認められるが、タバコの販売については喫煙に伴う症状悪化の危険があることから引き続き禁止とする。
- 社会的距離を維持するという観点で高リスクを伴うとされる飲食店（テイクアウトは除く）、宿泊施設、航空機を利用した国内旅行、会議、文化・スポーツ・エンターテインメント関連イベント、美容・理容施設などの経済活動は引き続き禁止の対象とされる。
- 国境の閉鎖措置も継続されるが、貨物輸送や南アフリカ国民の帰還は認められており、国内におけるビジネス旅行についても段階的に緩和を進める方向で検討されている。
- 極めて厳しい状況を強いられている観光、ホテル、レストラン業界では営業再開に際して導入する感染防止対策を取りまとめ、政府への働きかけを展開。各業界からの提案を受けて政府は協議を続けている。
- 南アフリカにおける新型コロナウイルスの感染は急増しており、先週だけでこれまでの感染者数全体の3分の1を記録。今後さらなる感染の拡大が見込まれているものの、感染拡大の規模や期間、影響については地域社会による取り組みや国民一人ひとりの行動によって大きく左右されことから、ラマポーザ大統領は感染防止策の徹底を改めて国民に訴えている。
- 政府の分析によると、現時点で爆発的な感染が広がるリスクは従来にも増して高まっており、南アフリカにおける新型コロナウイルスの感染は今後もさらに拡大し、収束までにはしばらく困難な状況が続くことが見込まれている。
- ツワネ、ヨハネスブルグ、エクルフレニ（Ekurhuleni）、エテクウィニ（Ethekwini）、ネルソン・マンデラ・ベイ、バッファロー・シティー、ケープタウンの計7カ所については、10万人あたりの新規感染者数が5人を上回る、もしくは新たな感染者数が急増しているホットスポット（警戒地域）に指定。感染状況を注視しながら2週間ごとに解除が検討される。
- ケープタウン市を含む西ケープ州は南アフリカ国内における感染者数全体の半数以上を占めていることから警戒を強めている。